個人ﾜｰｸ「１年間のまとめ」

Q.

話し合いの場に
参加した感想や思いを
漢字１字で表すと？

A.

41 人から 30 種類の回答
がありました！

4票	和
3票	知　絆
2票	活　思　輪　結
1票	場 逢 友 表 参 熱 繋 協 集 継 感 交 人 情 実 楽 関 希 連 行 何 共 声

和、平和、なごやか など

（住　民）
…全体の話をする中で、「和」があれば他の区の方の様子などが分かる。
（民生委員）
…知らない方々といろんなテーマで話しあうことができて楽しかった。
（事業所）
…いろんな方と知り合いになれ、様々な意見を聞くことができた。これから立場や意見の違う人と話しあって、楽しく過ごせる地域をつくりたい。
…グループワークが和やかで、意見も出しやすかった。

知識、知恵、周知、
知る、知りあう など

（住　民）
…知らないことが発見できた。
（民生委員）
…民生委員の新米です！日々の活動の知識の一つとなればと思い参加しました。そのまず一歩として“知ること”かなと。
（事業所）
…地域の方の顔を知ることができた。地域の方の考えていることを知ることができた。サロンのこと（状況や課題も含め）を知ることができた。事業所として地域に頼られるようになるためのヒントを知ることができた。

きずな など

（住　民）
…人と人のつながりが大切。
（民生委員）
…２回しか参加できなかったが、話しあう中で何をするにも絆があってのことだなぁと思った。
（自治区長）
…みなさんと知り合い、意見交換ができた。

同じ漢字を選んだ人が少なかったように、想いも感じ方も違う、世代や立場も違う人が意見を交わす貴重な時間となった「話し合いの場」ですが、話し合っただけではもったいない。これからは、小さくても、ひとつずつでも形にできる取り組みを進めていきましょう。１年間、ありがとうございました！

地域も事業所も集まって、「話し合う」ことから始めた１年間。

いこいの里／参加者４１名

第６回**「話し合いの場」**には、４１名（地域住民１６名、民生委員・児童委員１２名、事業所等１３名）が参加しました。前回の話し合いでは、“地域でやってみたいこと”と“事業所ができること”を具体的に盛り込んだモデルプログラムをつくりました。

今回は、実際にふれあいサロンに参加したことがある事業所による「サロンデモ」や、１年間のまとめとしてのグループワークや個人ワークを行い、今年度最終回の「話し合いの場」を終えました。記念撮影で見せてくれたみなさんの笑顔が、地域の中にもっともっとあふれますように！

全体のおおまかな流れ

**まずは集まって
みんなで話そう！**

町や地域の
課題・現状は？
今から何が必要？

こんなことやりたい！

**やりたいことで
グループをつくろう！**

やりたいことの企画
・目的は？
・対象は？
・場所は？など

**やってみよう！
やりたいことの実践**

本日のプログラム

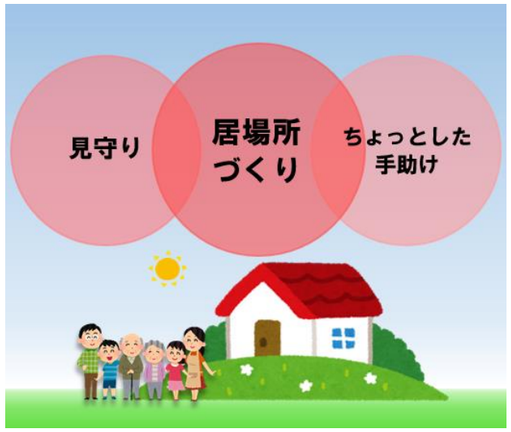
1．開会
2．前回のふり返り（社協から）
3．グループ編成（８ｸﾞﾙｰﾌﾟ）
4．サロンデモ～事業所ができること～
5．グループワーク「サロンの充実」
6．個人ワーク「１年間のまとめ」
6．発表、まとめ
7．記念撮影、閉会

見守り＋居場所づくり＋ちょっとした手助け

今年度の最終回を迎えた話し合いの場。今回は１年間のまとめとして、あらためて住民に身近な居場所であるサロンをテーマに取り上げました。

人が集まると、困りごとや悩みごと、反対に経験や知恵、みんなが持っている“情報”も集まります。高齢者だけでなく、障害のある方や子育て世代、子どもたち、事業所など、居場所に集う仲間の輪が広がると、楽しみや出来ることの可能性も広がっていくのです。

そして、居場所を通して形成された人のつながりが見守りやちょっとした手助けへと波及し、住み慣れた地域での安心した暮らしを支えるのです。

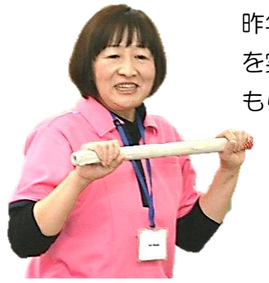


サロンデモ～事業所ができること～

更生会ふれ愛の郷（社会福祉法人 日本傷痍者更生会）実践発表

ふれ愛の郷では、昨年の６月から毎月第２日曜日に、地域住民が自由に参加できる「認知症カフェ」を実施しています。その際、カラオケや軽スポーツ、水彩画等のメニューを提供していますが、中でも好評なのが「健康体操」です。地域のサロンに参加することになったきっかけは、その健康体操に参加していた方から「自分の地域のサロンに来てこの体操をしてほしい」という依頼を受けたことがきっかけでした。

生活相談員 善さん


介護職リーダー 吉村さん

昨年の 12 月に地域の公民館で実際に健康体操を実施したのですが、地域のみなさんに喜んでもらえただけでなく、私たちも一緒に楽しい時を過ごさせていただきました。その後、地域には「職員派遣でできることリスト」を渡しています。お互いの要望やできることを知りあうことで、今後も地域と共にある事業所でありたいと願っています。

参加者の感想

サロンのマンネリ化を解消し、さらに事業所とつながりもできる！

事業所がサロンに参加できるとわかっただけでも心強い！

私たちの事業所でも地域に積極的に関わるためのヒントになった！

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ「サロンの充実のために…」

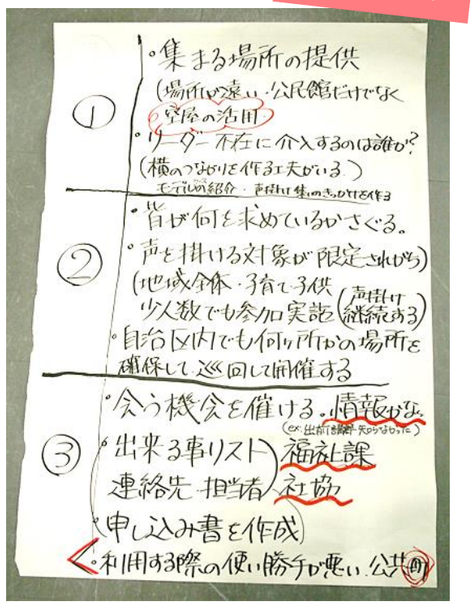
住民に身近な居場所として普及し、現在４３自治区で取り組まれている「ふれあいサロン」ですが、１２自治区ではまだ取り組まれていないことも事実です。一概に“サロンの充実”と言っても「やっていない自治区で取り組みを始める」ために必要なことと、「既に取り組んでいてさらに充実させる」ために必要なことは異なります。事業所がサロンに関わるために必要なことを加えて、３つのテーマでこれからのサロンについて意見を出し合いました。

①
- 既にやっているサロンからのアドバイス
- リーダーとなる人材が必要
- 同好会などからサロンへ発展させる発想
- 他のサロンを見学してみる
- 他の区と一緒に（校区で）サロンをしてみる
- 集まる場所の提供

②
- 参加を呼び掛ける対象を限定しない
- 地域から事業所へ積極的に声をかける
- 自治区内でいくつかの場所を確保して、巡回してサロンを開催する
- サロンを中心に、困りごとまで取り組めたら参加者が増える
- 補助金を増やしてほしい

③
- つながりをつくるために、まずは事業所から積極的に地域に出向く
- 各事業所が「何ができるか」がわかる一覧をつくって各サロンへ発信する
  →事業所ごとではなく一元的に！
  →行政や社協につなぎ役を担ってほしい

３つのテーマ



①**サロンが立ち上がっていない**自治区に必要なこと
②サロンを実施していて、**さらに充実させたい**自治区に必要なこと
③**事業所がサロン活動に関わる**ために必要なこと